

平成20年10月 7日

国土交通省道路局長 様

斜里町長 村田 均 印



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

標記の件について、別紙のとおり提出いたしますので宜しくお取り計らい願います。

道路は、住民生活や経済・社会活動を支える最も重要な基礎的なインフラであり、整備を進める地方の声は切実なものがあり、我が町も同様に道路整備の充実を切望するものであります。

そのことから、道路特定財源制度により、緊急かつ計画的に道路整備が進められてきましたが、未だその状況は質量とも十分であるとは言えません。今後も、道路整備を求める地方の実情、財政状況等を的確に把握するとともに納税者の理解を得ることが必要であります。受益者負担の原則のもとに自動車・利用者が負担している税の使途は、納税者の理解を得られるものとする。

高速道路から日常生活に身近な生活道路まで、バランスの取れたネットワークの整備や慢性的な渋滞の解消、防災対策、交通事故対策をはじめ、自動車利用者が求める道路整備については、必要な予算を確保し、滞ることなく着実に推進すること。

特に、地域の生活に密着した道路整備については、必要な予算を確保し滞ることなく整備が安定的に実施されるよう要望します。一方、高齢化する道路ストックの増大に対応し、適時適切な修繕等による効率的な道路ストック管理を行い、安全性、耐久性を高めるよう要望いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

- 1 地域の現状と抱える課題

様式

北海道 斜里町

○現状

当町は、737 km²と比較的広大な行政面積を有しており、国道2路線、道道8路線、町道は520路線で495,608.4mの道路を要しております。そのため、道路整備は改良・舗装とも大きく遅れており、約50%の整備率状況にあります。また、斜里市街から世界自然遺産の玄関口に当たるウトロ市街とは、約40kmの距離があることから通勤・通学や医療など、地域住民にとって道路は重要となっています。特に、国道はこの地域を結ぶ唯一の路線であり、災害等による通行止めは住民生活に大きな影響を与えることになります。

当町特有の軟弱地盤である泥炭地のため、不等沈下の発生も見受けられ、維持管理に苦慮をしている状況にあります。

○課題

北海道の道路網は、広大な面積を要していることから広域分散型を形成し、自動車交通への依存度が高く、全国に比べ道路整備が大きく遅れています。特に冬期間の厳しい気象条件などによる交通障害を解消し、本道における住民生活・産業・観光振興など、より一層重要となっています。

当町の場合も、農林水産業等の産業活動や世界自然遺産の知床を連絡する国道の果たす役割は大きく、未だ整備が遅れていることから、狭隘部分や急カーブの解消や防災対策と防雪対策など、抜本的な改修が急がれています。

町の道路整備についても、昨今の財政状況から計画通りに整備ができず、住民の要望に応えられない実態にあります。一方、既存道路の延命化と経費の維持管理の重要性も高まり、計画的に進めていく必要があります。

昨今の道路行政を巡る財政状況を考慮し、限られた予算で効果的かつ効率的に道路整備を一層促進していく必要があります。

しかしながら、広域分散型社会を形成し、自動車交通への依存度が高い北海道の道路整備は、全国的に比べ大きく立ち後れており、特に冬期間の厳しい気象条件などによる交通障害などを解消し、北海道における「活力ある地域づくり」や「安全で快適な生活環境づくり」、さらには、「観光のくにづくり」支援する上で、より一層重要となっている。

そのための、道路整備計画を着実に進めるために、引き続き必要な財源の確保が重要と考えます。

具体的な整備計画

高規格幹線道路ネットワークの形成は、道内の圏域間の交流・連携の強化、地域経済の活性化、高次医療サービスの確保や災害発生時の代替性の強化などを図る上でも整備を推進する必要がある。

一方、未だ整備が遅れており地方の生活道路の整備を引き続き実施できるよう、事業化に向けた制度の充実を図って着実な整備を行い特色ある町づくりを進めること。

豪雨・豪雪時においても、公共施設や病院などを相互に結ぶ生活幹線道路の安全な通行を確保すること。

国道及び道道のより安全・安心な道路交通環境の実現と小学校等に通うための児童が利用するなど、事故の危険性が高い通学路については、安全・安心な歩行空間の確保を行うこと。

橋梁等の修繕・更新・維持管理を適切に行い、長寿命化対策を進めること。

当町の世界自然遺産登録地ウトロ地区はもちろんのこと、オホーツク海や知床連山など優れた風景を活かすため、景観に配慮した道路整備を行うこと。

今後の道路行政についての意見・提案

様式

北海道 斜里町

道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

○ 重点事項	○ 代表事例	○ 期待する効果や評価等	○ その他
・地域活力の向上	国道 334 号(斜里市街からウトロ区間)の整備促進	産業振興、知床観光、生活路線として、地域経済への波及と住民生活の向上に寄与するものと思われる。 防災・防雪に加え景観に配慮した道路整備により、世界自然遺産登録地の知床観光振興に繋がる効果がある。	
・総合的な交通安全対策	国道 334 号新拓橋の整備及び狭隘な路肩の拡幅 国道 244 号美咲地区の交差点解消と狭隘な路肩の拡幅	斜里町の主要産業である水産・農産物関連施設等への物流ルートของ安全性・確実性が確保される。また、阿寒・釧路との広域観光へ連絡路のため、観光振興にも繋がる。通学路でもあるため、歩行者の安全性が図られる。 斜里町の主要産業である水産・農産物関連施設等への物流ルートของ安全性・確実性が確保される。また、知床観光への連絡路であり、観光振興に繋がる。通学路でもあるため、歩行者の安全性が図られる。	甜菜約 100 万トンを製糖 サケの漁獲量は、全国の約 13% 観光客入り込み数約 150 万人

道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

○ 重点事項	○ 代表事例	○ 期待する効果や評価等	○ その他
・総合的な交通安全対策	国道 334 号オシンコシン駐車場の交通安全対策 (オシンコシン駐車場の混雑緩和と安全性の確保及び当該国道沿線の既存遊休地等を活用したビューポイントパーキング等の整備) 【活用候補地】 ・旧峰浜キャンプ場跡地 ・日の出チップ泊付近 ・日の出オチカバケ川付近(旧国道) ・真鯉地区(用地確保必要)など	知床観光として、景勝地の一つであるオシンコシンの滝は、例年多くの観光客が訪れる重要な観光地であります。 特に最盛期は、駐車場からあふれる大型バスや一般車輛の路上駐車に加え、歩行者の道路横断も見受けられ、大変危険な状況となっています。 これらの解消のため、交通事故の防止の具体的な対策を講ずることにより、安全で安心な道路交通環境が図られる。 遊休地の活用により新たな観光開発に繋がり産業の振興が図られる。	